第２号様式

SDGs達成に向けたチェックシート

記入日	10月4日	企業名	株式会社静岡銀行

以下のチェック項目に対して、「現在実施している具体的な取組」「今後実施予定の取組（赤字）」を記載してください。なお、チェック項目に対応する主なSDGsの目標を右の欄に表示しておりますので、取組内容に応じて適宜ご修正ください。

No.	側面(分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	環境	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況や温室効果ガス排出量の把握、エネルギー使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	・電力等のエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の把握 ・省エネや温室効果ガス削減の取組の実施 ・再生可能エネルギー、グリーン電力の導入	・明るさを自動調整するLED照明や省エネ技術を導入している。 ・石炭火力発電向け投融資残高を2040年度を目途にゼロとする目標を設定（2024年3月末残157億円） ・2023年10月に、中部電力ミライズ株式会社と締結した「オフサイトコーポレートPPA」協定に基づき設置した「しずぎんソーラーパーク」が稼働 ・2030年度までにサステナブルファイナンスを累計で2兆円実行する目標を設定し、2023年度までに累計8,491億円のサステナブルファイナンスを実行							●				●	●				
2	環境	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	・廃棄物の削減計画の推進 ・使い捨てプラスチックの使用や廃棄の削減に対する取組の実施 ・自社製品の耐久性向上による長期利用の促進 ・使用済み自社製品の回収・リサイクルの実施	・しずぎん紙のリサイクルシステムに基づき、オフィスで排出した紙類を100%リサイクルしている。 ・通帳を発行しないことで削減費用の一部を寄付する「しずぎんECO口座」の取り扱っている（2023年度は新規口座開設のうち66%がECO口座での開設）。 ・ペーパーレス会議運営システム等を導入し、従来の紙文書をベースとしたワークスタイルを脱却し、環境負荷の低減に取り組んでいる。									●			●	●	●	●		
3	環境	健全な森林環境や河川環境を維持するための活動など、生態系の保全に努め、地域や他団体が実施する環境保全活動に協力・支援している。	・海や山などにおけるゴミ拾い活動 ・生物多様性に配慮した持続可能な資源利用 ・市の自然環境保全活動への協力・賛同	・「小さな親切運動」に設立当初から当グループ全体で運動に参画している。 ・里山づくり（森林整備）、クリーン作戦の取り組み ・県内で環境保全に取り組む個人や団体等に「公益信託しずぎんふるさと環境保全基金」を助成している（1993年の基金設立以来、助成先延べ717先、総額9,001万円）。												●	●	●	●		
4	社会 環境	事業に伴う調達について、環境負荷や人権などに配慮している。	・認証製品など非合法材でない原材料の調達 ・サプライヤーやパートナー企業に対して、人権尊重や生物多様性の重要性、ハラスメント防止等の重要性を説明し、その遵守を要請											●		●	●	●	●		
5	経済 社会	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に積極的に取り組んでいる。	・製品安全に関する方針、目標、組織体制、基準等の整備 ・不具合発生時の対応手順の整備 ・ISO9001の取得									●	●			●					
6	経済 社会 環境	環境に配慮した製品の開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	・環境に配慮した材料、製品、サービスを提供 ・製造過程におけるCO2排出量やプラスチック使用量の削減を設計時に考慮 ・医療、教育、地方創生、人手不足等の社会課題の解決を目的とした製品・サービスの開発	・サステナブルな地域を未来世代に遺していくため、複雑化、多様化する地域課題の可決に取り組む「地域競争戦略」を最重要戦略として位置付けている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7	経済 社会	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、ワークライフバランスの推進や良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	・年次有給休暇の取得や長時間労働の抑制に関する方針、ルールが社内規程で定められている ・テレワークの導入 ・早帰り、ノー残業デーの推進	・ライフスタイルセレクト制度（転居の有無、職務区分変更の有無） ・在宅勤務、サテライト勤務制度 ・フレックスタイム制度、ドレスコード廃止			●		●			●		●							
8	社会	年齢、性別、国籍、障がいの有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	・男女共同参画推進事業所認定制度の認定を受けている ・職場のバリアフリー化等、誰もが使いやすい職場環境の整備 ・短縮勤務、在宅勤務等の制度整備、利用促進	・LGBTQへの取り組みとして、同性パートナーシップ制度の導入、アライバッジの配布、多目的トイレのオールジェンダートイレへの変更等を実施 ・女性のキャリア開発・マネジメントを担う人材の育成に注力、積極的な配置・登用の取り組み					●			●		●							

9	社会	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメント等、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	・ハラスメントの禁止についての社内規程の策定 ・ハラスメント研修の実施 ・ハラスメント相談窓口の設置	・全マネージャー向けの研修や、職場単位の勉強会を通じて、上司・部下が相互の意識のギャップ等について議論し、良好な職場環境の構築やコミュニケーションの向上を図っている。					●			●										
No.	側面 (分類)	チェック項目	取組例	現在実施している具体的な取組 今後実施予定の取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
10	経済 社会	ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化など、業務の効率化やビジネスモデルの変革などに取り組んでる。	・顧客の情報をデータ化することによるテレワークやフリーオフィス化の推進 ・ICT機器の導入による従業員の作業時間の短縮	・テレワークやフリーアドレス化の推進 ・経済産業省が定めるDX制度認定に基づく「DX認定事業者」に認定								●	●		●	●						
11	社会	若者の就業や移住を促進するため、UIJターンの推進など、若者の定着に向けた取組を行っている。	・インターンシップの受入 ・市外在住の求職者への説明会の実施 ・WEBなどを活用した若者向けの情報発信	・インターンシップの受入 ・県内の子どもたちの郷土愛を醸成するためキッズアカデミーを開催 ・地域の子どもたちのスポーツ活動を支援するため「しずぎんカップ」に協賛 ・県内の高校生と次世代経営者塾「Shizuginship」会員がチームを組み、テーマに対する企画づくりを行う静岡魅力探求プログラム「アオハルし放題」の開催				●				●		●								
12	社会	疫病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	・ストレスチェックの実施 ・メンタルヘルス研修の実施 ・メンタルヘルス疾患に対応した休職規程の整備	・産業保健スタッフによる相談体制の整備や休職者の復職支援 ・生活習慣病予防に向けウェアラブルデバイスを全役職員へ配布 ・健康経営宣言を定め、各種健康増進施策に取り組むことで一人ひとりの「Well-being」の実現を目指す。			●					●										
13	経済 社会	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に努めている。	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築する	・職務、役割等に応じた研修の整備 ・通信講座や社外セミナーへの費用補助等、従業員が学習する仕組み、学習を支援する仕組みを構築している。				●				●										●
14	社会	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	・コンプライアンスについて社内規程の策定 ・コンプライアンス研修の実施 ・コンプライアンス違反通報窓口の設置	・取締役会で毎年コンプライアンスプログラムの策定 ・コンプライアンス研修の実施、オピニオンボックスの設置 ・コンプライアンスの基本方針として倫理憲章を定めている。 ①信頼の確保②法令・規定の遵守③豊かな社会常識と公平無私な心 ④反社会的勢力との関係遮断⑤活発なコミュニケーション								●		●						●	
15	経済 社会	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、取組計画の策定、運用を行っている。	・サスティナビリティ推進委員会等の推進組織、担当部署、担当者の設置 ・推進計画に基づく取組の運用	・持続可能な地域社会の実現および企業価値の維持向上に向けて取り組むべき重点課題（マテリアリティ）を特定し、経営戦略に反映させている。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16	経済 社会 環境	自社の環境、社会、ガバナンスに関する取組を社外に公開している。	・自社の環境情報の公開、人権、労働に関する取組、リスクマネジメント体制のガバナンス情報等をHPで公開している	・コーポレートガバナンス体制、内部統制システムの整備に係る基本方針をHPで公開												●						
17	自由 記述	環境 ・ 経済 ・ 社会																				

※現在実施している具体的な取組又は今後実施予定の取組について、以下の２点を満たしたうえで提出してください。
①経済・社会・環境の３つの側面それぞれについて、取組を設定していること
②10項目以上記載すること